

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 28 日

評価対象事業		評価者	環境施設課担当課長 谷川 克也	
環境-10	重点事業	名越クリーンセンター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境施設課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 環境センター
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<p>・基幹的設備改良工事完成に伴い、工事中の仮施設の復旧工事を実施した。</p>

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	人口	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数					事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	219,542	4,476		当初予算(千円)	0		29年度予算は3事業を廃棄物処理施設のマネジメント事業として1事業に統合。
	国県支出金				国県支出金			
	地方債	126,300			地方債			
	その他				その他			
	一般財源	93,242	4,476		一般財源	0		
事業経費運営	人員配置数	1.0	0.6		人員配置数	0.0		
	人件費(千円)	7,611	4,481		人件費(千円)	0		
	総事業費(千円)	227,153	8,957		総事業費(千円)	0		
事業経費運営	市民1人当りの経費(円)	1,282	51		市民1人当りの経費(円)			
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求められない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	廃棄物処理施設のマネジメント	事業へ統合
	予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	基幹的設備改良工事完成に伴う関連事業も終了するため。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>ごみ処理を安定的に実行していくために、名越クリーンセンターについて、必要な整備を実施した。今後は、長寿命化計画に基づき適正な管理を行なうため、廃棄物処理施設マネジメント事業として統合することで、業務の効率化を図った。</p>
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	場内整備工事を平成29年度で終了させること。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	トラックスケール復元工事、解体分別施設工事、場内整備工事等を着工した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成28年度内に完了できなかったトラックスケール復元工事、解体分別施設工事、場内整備工事を平成29年度で終了させること。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	復元工事の実施	単位	%	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
事務所等の耐震工事やトラックスケール復元工事・解体分別施設工事・場内整備工事の進行状況を評価するため。	目標値		70.0	100.0	100.0		
	実績値		70.0	80.0			
	達成率		100.0%	80.0%			
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	ごみ処理を安定的に実行していくために、名越クリーンセンターについて、整備を行なう必要がある。 平成28年度で場内整備工事を完了予定だったが手続きに時間がかかり、工事の進行状況が80%程度しか進められなかったため、平成29年度で残りの工事を行い完了(100%)とした。						